

平成30年度 福井県幼・小・中PTA活動 地区別研修会(福井・永平寺地区)

平成30年6月30日(土)

福井県生涯学習会館 多目的ホール

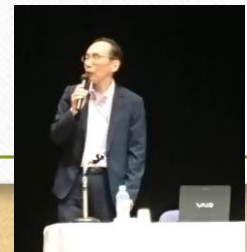


講演

「みらいを創るe-家族 ～くらしに学ぶエネルギー～ 持続可能社会と学校教育 「これからの社会で求められる教育とは 持続可能な社会環境を目指して」

講師: 国立大学法人 福井大学 理事・副学長 中田 隆二氏

- 環境(火山活動・土砂災害・地球温暖化など)、経済(国の財政赤字・国際紛争など)、社会(年金問題・人口減少・少子化・難民・病気など)における、このような**持続不可能な課題**を乗り越え、次の世代に負荷を与えないような社会が求められます。そのためには、**持続可能な開発に関する価値観**(人間の尊重、多様性の尊重、非排他性、機会均等、環境の尊重など)、**体系的な思考力**(問題や現象の背景の理解、多面的かつ総合的な物の見方)、**代替案の思考力**、**データや情報の分析能力**、**コミュニケーション能力**、**リーダーシップ**の向上に重点を置いた人材育成が求められます。
- これからの時代は、グローバル化や情報化等の変化が加速度的となる中で、IoTやビッグデータ、AI(人工知能)の進化等による急速な社会変革も現実のものになっていきます。将来の予測がますます難しい未来社会においても、**何が重要かを主体的に考え、他者と協働しながら、新たな価値の創造に挑み、社会の活性化と個性や能力を活かした人生の充実を実現していくこと**、そして生涯学び続けることが求められます。
- 新学習指導要領において、「家庭や地域社会との連携及び協働と学校間の連携」という一節を設けており、これからの学校教育において、**子どもたちの「これからの社会を生き抜く力」**を育むためにも、学校・家庭・地域の連携・協力がますます必要になってきます。また、学校では**アクティブラーニング(能動的学習)**が取り入れられていきます。大学受験も点数だけでなく、**学んできたことのプロセスと達成度**が評価される時代になります。大学の役割も、地方創生に向け、人材育成という視点に立ち、地域の魅力を知り、地方で働くことのマインド醸成が求められる時代になっています。





実践発表

福井市清明小学校PTA テーマ:「学年学級活動」



学年学級活動とは・・・

毎年10月の授業参観終了後、各学年ごとに活動内容を決めて、児童・先生・保護者一体となって活動します。

昨年度の活動内容は・・・

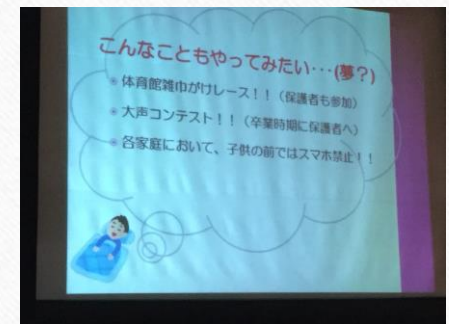
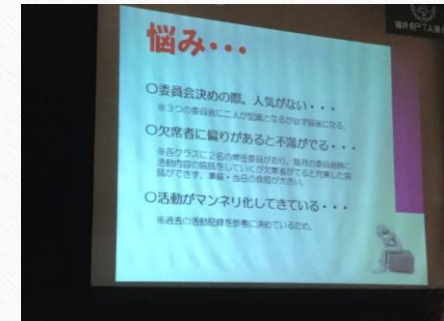
- 1年生「クイズウォークラリー」
- 2年生「作ってとばそう、わくわくロケット」
- 3年生「新聞紙とおともだち」(新聞紙を使ってゲーム)
- 4年生「新聞に親しもう」
- 5年生「ストップ! 温暖化&フードマイレージゲーム」
- 6年生「親子でenjoyフィットネス♪」

学年学級委員会の悩み・・・

- 学年学級委員会の人気がない
- 欠席者がいると充実した協議ができず、準備や当日の負担が大きい
- 活動がマンネリ化してきている

こんなこともやってみたい・・・(夢?)

- 体育館雑巾がけレース!! (保護者も参加)
- 大声コンテスト!! (卒業時期に保護者へ)
- 各家庭において、子どもの前ではスマホ禁止!!



こんなこともやっています・・・

アルミ缶回収
 地区防犯隊合同防犯パトロール
 合宿通学(公民館から通学)
 豪雪の時には100名余りの保護者が学校や通学路の除雪に参加



実践発表

永平寺町松岡中学校PTA テーマ:「学校と地域をつなぐPTA活動」



- 松岡発見伝ウォークラリーは、各クラスが6つの班に分かれ松岡の名所や旧跡を回るものです。できるだけ多くのチェックポイントを回り、一番高い得点をとったクラスが優勝となります。
- チェックポイントの中には、PTAが問題を出すところや、給水ポイントでの水分補給のサービスを行ったり、冷たいゼリーを提供するところもありました。この日は特に暑い日だったため、水分補給や冷たいゼリーは疲れた子どもたちにとっても喜ばれ、次のチェックポイントへ向かう元気のもとになったようです。
- 地域の方々もチェックポイントで問題を出したり、解説をしたり、道を教えてくれるなど、子どもたちを温かく見守っていただきました。



こんなこともやってます...

- ⚙️ 労力奉仕作業(グラウンドの除草・プールの清掃) ⚙️ 資源回収 ⚙️ 広報紙発行(年3回)
- ⚙️ 学年部主催の講演会 ⚙️ 豪雪の時には保護者が学校や通学路の除雪に参加